

アルジェリア政治・経済月例報告
(2015年8月)

平成27年9月
在アルジェリア日本国大使館

1. 内政

● DRS から軍への権限委譲

報道によれば、7月末から8月にかけて、情報安全庁 (DRS) 高官の人事異動、及び部隊の管轄の変更が多数行われた。総じて DRS 高官の更迭と権限縮小が窺えた。主なものは以下の通り。

(1) 7月23日、メジュドゥブ大統領府安全局 (DRS 管轄) 長が更迭され、ナセル・ハブシ大佐が同局長に就任。また同日、メリヤニ共和国防衛隊司令官が更迭され、前第5軍管区司令官のベンアリ・ベンアリ中将与交代。

(2) 7月25日、ベンダウド DRS 国内治安局長が更迭され、8月4日にブラ・ベンゼリガ准将が就任。また同日、軍治安局長にムハンマド・カーイディ少将が就任。

(3) 8月9日、DRS 傘下にあった特殊部隊 (GIS) が、軍傘下に、同10日、大統領府安全局が共和国防衛隊傘下に、同24日、DRS 傘下にあった対テロ部隊 (SCORAT) が、軍治安局傘下となった。

なお、27日には、当局により、ハサーン元 DRS 対テロ局長 (2014年1月に解任、その後司法監察下にあった) が拘束されたと報じられた。嫌疑は不明。

2. 外交

● ケイタ・マリ大統領の来訪

ケイタ大統領は8月30日から9月1日の3日間の日程でアルジェを訪問し、ブーテフリカ大統領及びセラル首相と会談した。「ブ」大統領は、マリ和平・和解合意が署名されたことを祝福するとともに、持続的な平和を達成する上で、マリの各関係主体が本合意の規定を誠実に履行することの必要性及び緊急性を訴えるとともに、アルジェリアはマリの治安と安定を達成するためにマリと共に行動する用意がある旨ケイタ大統領に伝達した。同席者は、ウルドゥ・ヘリファ国民議会議長、セラル首相、ウーヤヒヤ大統領府官房長、ラマムラ外相、ガイド・サラ国防副大臣兼軍参謀総長、メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣。

今回のマリ大統領訪問は、8月中にマリで発生したテロ事件 (3日、マリ北

部での国家警備員の駐留地が武装勢力による襲撃で国家警備員 11 名が死亡。7 日、マリ中部の MINUSMA およびマリ軍関係者が利用するホテル (Hotel Byblos) への襲撃事件で外国人を含め 13 名が死亡。) と停戦合意違反 (15 日から始まった、マリ北部キダル周辺での CMA と Plateforme の武装勢力間の武力衝突) に対する当国外務省による一連の非難声明が発出された後に行われた。

● リビア関連の外交努力

8 月 6 日、メサヘル・マグレブ AU アラブ連盟担当相はカイロで開催された中東和平イニシアティブ閣僚会合に出席した際、シュクリ・エジプト外相と会談、リビア情勢について協議。また、17 日、シュクリ・エジプト外相は、ラマムラ外相と電話会談を実施、リビア情勢について協議した。更に、25 日、メサヘル・マグレブ AU アラブ連盟担当相はジェニティローニ伊外相と電話会談を行い、リビア国民政府形成の必要性について両者で合意した。

3. 治安

● スイクダ県における軍襲撃事案

報道によると、8 月 14 日、スキクダ県西部の山岳・森林地帯において、掃討作戦を行っていた軍部隊が、待ち伏せていたテログループの射撃を受け、軍人 1 名が死亡し、他の軍人 1 名が重傷を負った。地元情報筋によれば、テロリストの数は 5 人で、武装であった。軍は直ちに反撃に転じ、犯人グループを周辺の山岳に退散させた。

軍は第 5 管区司令官の指揮の下、現場周辺の山岳・森林地帯でヘリコプター等を動員して空爆を交えた大規模な作戦を展開し、約 40 人のテロリストを包囲した。一部情報筋によると、作戦の規模から見て、AQIM 大首領ドルウクデルが含まれている可能性がある由。

逮捕テロリストから供述を得た治安関係筋によると、テロリストは AQIM 下部組織エル・フェトフ・エル・ムビーンに所属する 40 人であり、彼らは、スキクダ県内、特にスキクダ港石油化学施設を狙って大規模なテロを敢行する目的で、ジジェル県からスキクダ県へ移動した。

● MBM による「西アフリカのカーイダ・アルジハード」設立宣言

8 月 16 日付当地アラビア語紙によると、ムフタール・ベルムフタール (MBM) を首領とする新たな組織「西アフリカにおけるカーイダ・アルジハード」の設立が宣言された。同報道によると、15 日、関連ジハーディスト・サイトに、「ムラービトウン」のシューラー評議会の 2015 年 7 月 21 日付声明が掲載され、MBM を指導者とし、「西アフリカにおけるカーイダ・アルジハード」と称す

る、アフリカにおける新たなアル・カーイダの分派が設立されたことが発表された。右声明では、ムラービトゥーンのアブ・ワリード・サフラーウィを首領とする一派が ISIL に対して忠誠表明を行ったことを非難している。

● ISIL リビア支部による MBM の「Wanted Dead」リスト掲載

報道によれば、8月23日、リビア・デルナの ISIL リビア支部は、そのジハーディスト・サイトに「Wanted Dead」の表題の下、最近の MBM（別名ハーリド・アブ・アッバース）の動きに関する情報を伝えるページを掲載した。同サイトによると、MBM はこれまで何回も死亡が宣言されているが現在もリビア東部のデルナで生存しており、同人がデルナにおける「背教の目覚め」の一人であるとしている。

本件は、6月にリビアで米軍が MBM を標的とした空爆を行ったものの、同人の生死が依然として不明な中で、興味深いもの。また、アル・カーイダと ISIL の対立が地域で鮮明化している中で行われたもの。

4. 経済

● 第7回アルジェリア・ロシア経済協力・商業・科学技術合同委員会

7月30日-31日、モスクワにて第7回アルジェリア・ロシア経済協力・商業・科学技術合同委員会が開催され、アルジェリア側からベンハルファ財務大臣、ロシア側からノヴァック・エネルギー大臣が出席し、同合同委員会の共同議長を務めた。同委員会では複数分野における双方の関心事項について議論が行われ、右は議事録として委員会終了後に両共同議長によって署名された。また両者は、財政、金融、エネルギー、水資源、海運分野等における協力可能性について検討するための作業部会を設置することに同意した。また同会議のマージンで、アルジェリアの国営鉄道会社とロシアのウラルゴンザボード社が協議を行い、会合後両者はパートナーシップ協定に調印した。

● 財務省による公共投資プロジェクトの凍結指示

8月4日、財務省は、各省庁及び各県知事宛の電信において、地方開発プログラムを除く未実施の公共投資プロジェクトの凍結を指示した。また財務省は、各省庁及び各県に対し、公共投資プログラムのみならず、公用自動車の購入も禁止した。住宅分野を除いた数千もの投資プロジェクトが公式に凍結されたことにより、各都市において必要不可欠な都市計画や公共事業に影響が及ぶこととなった。病院等の医療施設、大学、高校、中学校、道路、港湾及び空港インフラといった分野における投資プロジェクトも、新たな指示が出るまでの間凍結することになった。また、投資プロジェクトの凍結は、住宅、治水、公共事

業に従事する数百の企業の事業計画及び従業員の維持に影響を及ぼすことが懸念される。

● 2014年の経済情勢報告

8月17日、国家統計局（ONS）は、2014年の経済情勢報告書を発表した。同報告書における主な指標は以下のとおり。

- (1) 1人当たりGDP：5,460ドル（2013年は5,474ドル）
- (2) GDP：17兆2,051億DA（2013年は16兆6,438億DA）
- (3) 経済成長率：3.8%（2013年は2.8%）
- (4) 非炭化水素部門GDP成長率：5.6%（2013年は7.1%）
- (5) 炭化水素資源輸出額：585億ドル（2013年は637億ドル）
- (6) 輸出総額：5兆2,526億DA
- (7) 輸入総額：5兆5,024億DA

● 2015年1月—7月の貿易統計

8月23日、アルジェリア関税局・国家統計情報センター（Cnis）は、2015年の1月—7月の貿易統計を発表した。同統計によると、2015年1月—7月の貿易収支は、前年同期が39億6,400万ドルの黒字であったのに対し、80億4,000万ドルの赤字となった。輸出額は、前年同期が384億9,000万ドルであったのに対して229億2,400万ドルを計上し、対前年同期比40.44%減となった。輸入額は、前年同期が345億2,500万ドルであったのに対して309億6,500万ドルを計上し、対前年同期比10.31%減となった。

5. 我が国との関係

● 藤原大使とベドゥイ内務・地方自治大臣との会談

内務省発表によると、8月19日、ベドゥイ内相は、藤原日本国大使と会談し、危機・自然災害管理に関する職業訓練について協議した。また同相は、アルジェリアと日本にある天文物理学や地球物理学に関する研究所間の関係強化について言及し、両者は地方都市間の関係樹立について合意した。

<アルジェリア要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
7月30日— 8月1日	ロシア	ベンハルファ財務大臣	第7回アルジェリア・ロシア経済協

			力・商業・科学技術合同委員会出席、ノヴァック・エネルギー大臣と会談等
8月5日	エジプト	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣	中東和平に関する中東和平イニシアティブ閣僚会議に出席
8月6日	エジプト	ベンサラ国民評議会議長	スエズ運河開通式出席、アル・シッシ大統領と会談等
8月6日	南アフリカ	ウルド・ヘリファ国民議会議長	2015年度全アフリカ国会議長会合に出席
8月16日	エジプト	アイサ宗教・ワクフ大臣	ファトワ国際会議に出席
8月19日	インドネシア	メデルシ憲法評議会議長	ウィドド大統領と会談等

<外国要人のアルジェリア訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
8月4日	AU	アブドゥラヒAU政務担当委員	メデルシ憲法評議会議長、ラマムラ国務大臣兼外務・国際協力大臣と会談等
8月9日	シリア	ハッスーン・バドレディン・イスラム教スンニ派法学者	ベンサラ国民評議会議長、アイッサ宗教・ワクフ大臣、ミフビ文化大臣、メスレム国民連帯・家族・女性大臣と会談等
8月10日	イラク	ヘイル・アッラー外務省次官	ベレクシ外務省次官と会談等
8月12日	マリ	アグ・インタラ・トゥアレグ族指導者	ベレクシ外務省次官と会談等（マリ和

			平プロセス)
8月23日	国連	サヴィーユ国連民主主義基金局長	メデルシ憲法評議会議長、ベドゥイ内務大臣等との会談等
8月25日	国連	ハムディ MINUSMA 代表	ラマムラ外相と会談

(了)